

ふくしま むらの輝き2022

写真コンテスト



人が輝き、村が輝く。



ふくしまの希望を
「カシャ」と撮ろう!

「ふくしま むらの輝き 2022」 写真コンテスト 応募要領

テーマ

- 福島県内の農村における地域ぐるみの活動
・地域ぐるみで行う草刈り、ゴミ拾い、花植えなどの様子など
- 福島県内の水路やため池のある農村風景
・農業用水路や農業用ため池の近くで作業する人物や付近に
生息する生き物など

※福島県内在住者を対象とします。

賞

- 最優秀賞 1点 (賞状、賞金 50,000 円 テーマ共通)
- 優秀賞 4点 (賞状、賞金 20,000 円 テーマ毎に2点)
- 入選 6点 (賞状、賞金 5,000 円 テーマ毎に3点)

応募締切

令和4年11月30日(水)

当日消印有効 福島多面的推進協議会 検索

作品応募規格等、詳細は裏面(応募用紙)をご覧ください。



テーマ共通 2021コンテスト 最優秀賞
「稲刈りの日」高木志津夫さん



農村風景の部 2021コンテスト 優秀賞
「用水堰に架るアーチ虹」鈴木 彦三さん



地域ぐるみ活動の部 2021コンテスト 優秀賞
「早苗の頃」星 洋一さん



農村風景の部 2021コンテスト 優秀賞
「山里の朝」宇佐見富士夫さん



地域ぐるみ活動の部
2021コンテスト 優秀賞
「米、取ったよ〜」若佐 辰朗さん

多面的機能支払交付金事業制度が始まっています

農村には、四季折々の自然、農業の営み、そこで暮らしが織りなす独特の文化・歴史・景観など都会では見られなくなってしまったものがたくさんあります。例えば、あぜ道の草花や鳥のさえずり、小川のせせざりや木々の緑等農村には身近なところに豊かな自然があります。また、田植え・稲刈り、野菜や果物の収穫作業、田畑を耕すトラクター等農業の営みは農村の風景をつくっています。私たちは、この風景をいつまでも大切に残していかなければなりません。

しかし、農業者の高齢化等により農家が減り続け、この風景を維持していくことが困難になってきています。このため平成19年度より農地・水・環境保全向上対策(平成26年度から多面的機能支払交付金)が始まっています。

この対策は、農家の方々のみならず、非農家の方々にも参加していただき、地域の貴重な資源である農地・農業用施設の維持・保全活動に加え農道に花を植える等農村景観の維持に努めています。特に集落廻りを流れる農業水路は、消防などの防災面や環境面で大切なものとの認識が深まり住民総出の定期的な草刈りや江ざらいを行うことに繋がっています。現在、様々な活動組織が知恵と工夫を重ね、この大切な農村風景を守っています。

このコンテストを通して多くの皆様に本対策を知っていただき、農業・農村に対する理解がますます深まっていくことを目的に写真コンテストを実施いたします。

作品送付及び
問い合わせ先

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地 福島県土地改良会館内 福島県多面的機能支払推進協議会

「ふくしま むらの輝き2022」写真コンテスト係

TEL.024-535-0419 FAX.024-535-0358

主催／福島県多面的機能支払推進協議会
後援／福島県、福島民報社、福島民友新聞社
福島県農業協同組合中央会
福島県土地改良事業団体連合会